

第1回 六甲山系妙法寺川地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年10月4日(木) 14:00～16:00
2. 開催場所：神戸市須磨区役所 多目的会議室
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大学理学部教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然（六甲全体）
志水 英治	神戸市総合教育センター 授業づくり支援室主任指導員 (前妙法寺小学校長)	自然（郷土）
隈下 潤	神戸市立板宿小学校 教諭	郷土史
田中 敏夫	須磨FRS ネット 代表	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

【事務局】

六甲砂防事務所	綾木副所長、森東課長、杉浦係長、西山技術員
株式会社エイト日本技術開発	田中、吉川、松本、松島

4. 配付資料

- 議事次第
- 第1回検討委員会資料（資料①～⑦）
- 参考資料 「みんなで語り、伝えよう！夙川物語」「主な学習要素（妙法寺川流域）」

5. 議 事

1. 事務所長あいさつ	・六甲砂防事務所 神野所長あいさつ
2. 委員紹介	・各委員、事務局による自己紹介（資料①）
3. 委員会設立趣旨、規約（委員長の選任）	・事務局による説明（資料②）
4. 検討委員会での検討内容・スケジュール(案)	・事務局による説明（資料③）
5. 妙法寺川流域の特性・主な学習要素について	・事務局による説明（資料④、参考資料）
6. 学習ストーリー骨子と散策ルートのポイントについて	・事務局による説明（資料⑤）
7. 事前説明・ヒアリングにおける意見概要等について	・事務局による説明（資料⑥）
8. 意見交換	
9. 冊子における「わかりやすい表現」について	・事務局による説明（資料⑦）
10. 閉会	・六甲砂防事務所 神野所長あいさつ

<冊子の内容・情報に関する意見概要>

主 な 意 見 の 概 要	
■神戸層群について	<ul style="list-style-type: none">・神戸層群について説明するとともに、白川累層、多井畑累層について記述を加えてほしい。(宮田委員長、田中委員)・累層という言葉は最近使わないため、白川層、多井畑層など、記述を統一してほしい。(宮田委員長)
■化石について	<ul style="list-style-type: none">・神戸層群からは白川層と同時に多井畑層からも化石が見つまっている。多井畑層も記述を加えてほしい。また化石には名前と写真を掲載すると、子供たちが化石を見つけたときに对照できるので、活用が楽しくなる。(宮田委員長、田中委員)
■断層について	<ul style="list-style-type: none">・断層としては多井畑断層を入れる必要がある。(田中委員、宮田委員長)
■妙法寺川の石炭について	<ul style="list-style-type: none">・教育センターの資料に妙法寺付近で発掘された石炭の資料が見つかった。子供たちにインパクトがあると思うのでどこかに取り入れてほしい。(志水委員)
■須磨の希少植物について	<ul style="list-style-type: none">・須磨の希少植物として 神戸市のレッドデータブックにも掲載された板宿八幡神社のヒメユズリハーカゴノキ群落、須磨寺のヒメユズリハーヤマモモ群落が見られる。また鉢伏山は一带がウバメガシが生えており、この地域の大きな特徴であるので学習要素として取り上げるべきである。(香西委員)
■海浜生植物について	<ul style="list-style-type: none">・海岸にはレッドデータブック B ランクの海洋性植物群落が見られる (香西委員)
■旧国鉄の鷹取工場について	<ul style="list-style-type: none">・街の変遷として、旧国鉄の鷹取工場には日本一の工場があった。現在は公園になっているが明治から昭和の変遷の大きな要素である。(香西委員)
■天井川の残土について	<ul style="list-style-type: none">・天井川周辺を再整備するときに出た残土は、JRの鷹取駅から兵庫駅の間の盛土を造るために使われた。これは歴史の大切なところではないか。(田中委員)
■環境関連の活動団体について	<ul style="list-style-type: none">・地域団体でFRS ネットの中で抜けている団体があるので、入れたり入れなかったりするのには公平性を欠くため、いれるなら全部入れて欲しい。 「いたやど里山クラブ」は、現会員自身は「いたやにすと」と言っているので記述は「いたやにすと」にした方が良い。またその他の団体で「すま・はまの会」も熱心な活動を行っているので追加すべきである。また、長くほったらかしで生物多様性がほとんど失われてしまったところも「いたやにすと」の活動で回復しつつある。自然を守るにも人間の手は必要である。(田中委員)
■文化の継承について	<ul style="list-style-type: none">・文化を紹介する際に、過去の文化が現在にどのようにつながっているか、文化を伝えることの大切さを教えるような内容を記述してはどうか？たとえば84 ページ(夙川物語)の「自助・共助・公助」のところなどで、その災害のつど、人の命と引き換えにどのような工夫

がなされてきて、それがどのように災害を少なくしてきたかなどを記述がほしい。(限下委員)

■鎮守の森など自然林と防災について

- ・鎮守の森と防災とのかかわりは大きいものがある。昔の知恵や文化が防災に役立っていることを記述してはどうか。(限下委員)

■自然を守ることにについて

- ・自然をほったらかしにすることが自然を守るのではなく自然が偏ってしまうことになる。自然も手を加えないと生物多様性が守れない。災害に強いものにするためにも人間が手を加えることが必要である。(香西委員、田中委員)

■歴史を語る様々なあかしについて

- ・寺社の紹介については、那須神社を入れるなら北向八幡神社を入れるべきである。また、勝福寺の記述で、山津波でほぼ完全に破壊させられたことも追加してほしい。(田中委員)

■堰堤について

- ・昭和13年の大水害以降に造られた砂防えん堤が、急激に住宅化されて団地の中に取り込まれ、機能を果たしていないものも見られる。そういうものも紹介してはどうか。(神野委員)

■冊子の活用について

- ・小学生を教える立場から考えると、理科であれば、たとえば動植物を学習するときに、私たちが住んでいる須磨ではどうなっているかなどのつながりがよく分かるような記述を冊子に盛り込んでもらえれば活用しやすいのではないかと(志水委員)

■わかりやすい表現について

- ・記述する用語として、「節理」「ジオトープ」「サナトリウム」など専門用語や分かりにくい言葉を分かりやすいものに工夫する必要がある。(神野委員)

<その他、意見概要>

主 な 意 見 の 概 要

■散策ルートについて

- ・散策ルートについて妙法寺川沿いのルートは小学生には長すぎるのでは。半日でいけるルートとして2ルートとするか、コースを短く設定したほうが良い。このルートで⑫から⑬の間は神戸層群が見られたり化石があるなど良いコースであるが⑪から⑫の間には見るべきものがあまりない。(香西委員)
- ・那須神社)の位置からまっすぐ北のところ、丹波層群と思われる2つの黒い岩がある。その石がどういうものかを確認して、もし六甲の形成学習に必要なならコースに追加してはどうか。(田中委員)